



『学校教育目標』と『目指す生徒像』『目指す学校像』『目指す教師像』

『学校教育目標』

すすんで学び、丈夫なからだで、みんな仲よく

『目指す生徒像』

- ① 自他を大切にし、心豊かでたくましく生き抜く生徒【持続可能な社会づくりに向け、自らを高め、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力（ダイバーシティ・インクルージョン）】（②③）
- ② 自主自立の精神を強くもつ生徒【自己実現】（①）【実践力】（③）
- ③ 礼儀（あいさつとことば）正しく思いやりのある生徒【リーダーシップやチームワーク、感性、優しさなどの人間性】（②）

『目指す学校像』

- ① 生徒も教職員も「生命の尊さ」を深く理解し、安全で安心して生活できる学校
- ② 生徒も教職員も「学ぶ喜び」を享受できる学校
- ③ 生徒も教職員も将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと活動できる学校
- ④ 伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域・教職員が共に支え合う学校

『目指す教師像』

- ① 人権尊重を第一に生徒一人一人の良さを発見する眼、受けとめる心、語り合える言葉を大切にする教師
- ② 専門性、指導力を磨き合い、組織としての対応力を高め合う教師集団

はぐくむべき資質・能力

社会生活における課題や問題を自ら発見し（①）、他者と協働して解決しようとする態度（②）や新たな考えを創造し実行しようとする力（③）（数字は目指す生徒像との関係を表す）

教育指導ビジョンと重点的にはぐくむ9項目

≪各教科等教育指導ビジョン≫…【別紙】参照

≪重点的にはぐくむ8項目≫

- 豊かな知性・感性・社会性の育成
- 自己実現力（自己選択、自己決定、自己指導能力）の向上
- 規範意識の向上、基本的な生活習慣の確実な定着
- 自ら考え表現する力の向上
- 自己肯定感、自己有用感の向上
- 主体的に学びに向かう力の向上(家庭学習定着・読書活動推進)
- 自治的能力向上（生徒会活動、学級活動等）
- 府中八中での地域防災等地域の安全を守る力の向上

本校の『スローガン』と『学校全体の推進力』として大切にすること

スローガン『学びと思いやり』 学校全体の推進力『「あいさつ」（オアシス運動）、「合唱」、「部活動」の充実』

領域	方 針	重 点
学力向上	・生徒の「見方・考え方」を働かせた、より質の高い深い学びにつなげる授業の実践	・「教科等横断的に働く見方・考え方」をテーマとした研究活動を推進する。 ・思考力、判断力、表現力を支える教科等における言語活動の充実を図る。
健全育成	・生命尊重の精神の育成を基盤とした生徒の自己実現力を高める生徒指導の実践 ・高い人権感覚、豊かな心を培う教育活動の実践	・一人一人の生徒の行動特性やコンピテンシーなどあらゆる多くの情報を基礎にした教育活動、生徒指導を推進する。 ・学校を主体とし、家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を密にした戦略的教育活動、生徒指導を推進する。
特別支援教育	・共生社会を目指すダイバーシティ・インクルージョンの実現 ・障害に対する教職員の専門性を高め、生徒の可能性を最大限に伸ばす教育活動の実践	・一人一人の生徒の教育的ニーズを把握し、多様な学びの場と指導、支援（ユニバーサルデザイン等）の充実を行う。 ・障害の有無に関わらない交流、共同学習の場の設定と教育活動を推進する。
健康安全体力づくり	・基本的な生活習慣を改善・定着させ、運動・スポーツに親しむ健康な生徒を育成する取組の実践 ・主体的な安全文化の啓発と地域の安全文化の構築に貢献できる生徒を育てる実効的な安全教育の実践	・ALPHA新体力テストソフトの活用による健康教育を推進する。 ・部活動の取組を通じたスポーツや芸術、文化に親しむ取組を推進する。 ・生徒（部活動リーダー等を中心に）のファーストエイド技術向上の取組を推進する。 ・地域等と連携した取組を推進する。
保護者地域との連携	・地域、関係機関等の人的、物的資源等外部資源を積極的に活用した学校主体の教育活動、研究活動、マネジメントの実践 ・ふるさと府中を愛する心を醸成し、その心を持ち続ける取組の実践	・コミュニティ・スクール事業を参考に、重点的にはぐくむ8項目の実現に向けた取組を行う。 ・地域の人材・環境・施設等の有効活用を推進する。
特色ある教育活動	・オリンピック・パラリンピック教育の成果の活用と共生・共助社会と持続可能な社会の実現に向けた未来へつなぐ「八中2020レガシー」の取組の実践 ・多様な表現活動をとおして、芸術文化のよさを発信できる生徒を育てる芸術教育の実践	・ふるさと学習、ボランティアマインド、豊かな国際感覚の育成を重点とし、国際的な視野をもって世界の平和に向けて活躍できる人材の育成を図る。 ・合唱指導の充実を図り、生徒の感性を高める取組を推進する。
学校における働き方改革	・教職員の心身の健康の増進 ・教職員としての誇りやりがいをもって職務に専念できる環境の整備 ・学校の教育活動の質の向上	・副校長等校務改善支援事業の活用及び効果的实践 ・学校経営支援事業による専門スタッフの活用及び効果的实践 ・地域コーディネーターの活用と効果的实践
服務規律	・服務規律の徹底 ・服務の厳正	・非遵行為による服務事故0の継続 ・教育公務員としての不適切な言動0の継続 ・年度当初連続研修と機会を捉えた研修を実施し教職員の意識向上を図る。

※キーワードとしたい文書に下線を引きました。